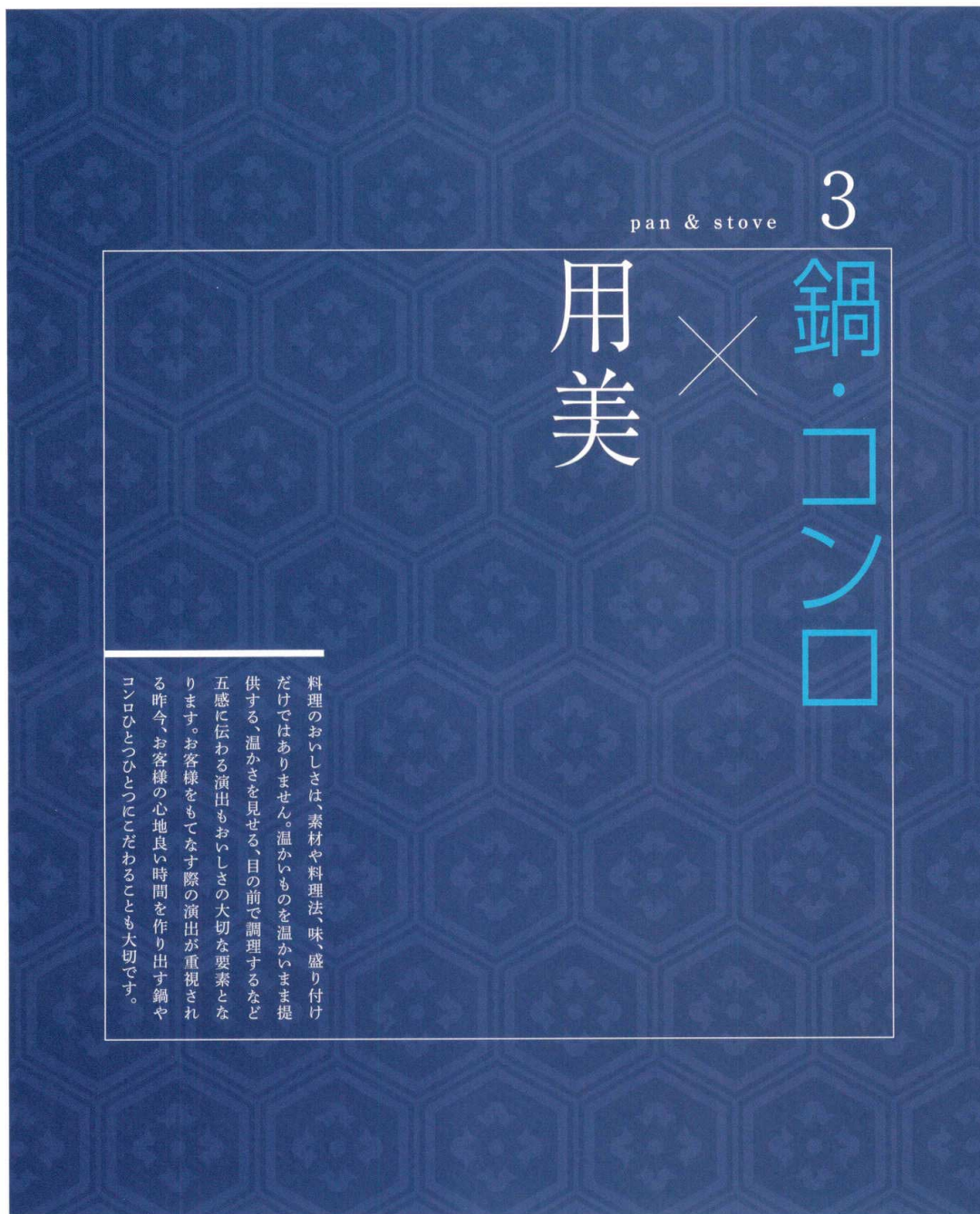


Catalogue No.

20510-54



扉の色：深縹(こきはなだ)

藍染めの中で最も濃く深い色で、わずかに紫みを含んだ青色。非常に古い色名で、「ふかきはなだ」とも読まれます。平安中期より、現代でも馴染みのある『紺』とも呼ばれるようになりました。

扉の柄：亀甲花菱(きっこうはなびし)

亀の甲羅の形に由来する六角形を組み合わせた模様。「鶴は千年、亀は万年」と言われるように、長寿のシンボルとして尊ばれています。